

第2回 ミュージアム連携ワークショップ in 須磨

公開講座：大阪湾の干潟を再生する



開催趣旨

大阪湾の干潟は、過去数十年のあいだにつぎつぎと姿を消してきました。干潟には、カニや魚、野鳥にヨシ原など、いろいろな生物が棲み、生まれ、育っています。博物館や水族館の専門家、干潟を守る現場の技術者とともに、干潟の生態系が、川や海のどんな作用によって成り立ち、干潟を再生するためには何をどうすればよいのかを考えるワークショップを開催します。

■日時：2016年10月8日(土)

■場所：神戸市立須磨海浜水族園

ワークショップの会場は、正面入口から入園し、受付で入園料をお支払いいただき、本館3Fの“悠ちゃんコスモス”までお越しください。
なお、ワークショップと合わせて、当水族園の展示も見ることができます。自由にご覧になってください。

TEL/078-731-7301

住所/神戸市須磨区若宮町1-3-5

アクセス/電車：JR 須磨海浜公園駅より徒歩5分

車：阪神高速若宮出口よりすぐ

駐車場/なし(近くに須磨海浜公園駐車場あり・有料)

■参加費：無料(どなたでも自由に参加できます)

ただし、水族園への入場料 ¥1,300、資料代 ¥1,000 は別途(懇親会 ¥4,000、参加される方は事前の申し込みをお願いします)

■プログラム

- ◇ 13:00~ 受付開始
- ◇ 13:30~16:30 公開講座(講堂)

- 13:30~13:35 趣旨説明

大阪市立自然史博物館 谷田一三

- 13:35~14:55 話題提供

話題提供(各20分)

- 「干潟とそこに棲む生物」
- 「あそび心をつなげる水槽展示」
- 「生物相を考慮した水環境の保全と再生」
- 「岸和田市の沖合に造成された人工干潟～生物相の特徴とその変遷について～」

西宮貝類館 山西良平
須磨海浜水族園 吉田裕之
大阪市立大学 高田直俊
きしわだ自然資料館 柏尾 翔

(休憩 10分)

- 15:05~16:10 総合討議、総括

- 16:10 閉会

- 16:30~17:30 バックヤードツアー(バックヤードを案内してくれるツアーに参加すれば、生きものたちの普段は見られない姿や、飼育員さんたちの仕事ぶりを見学できます)

(座長) 兵庫県立人と自然の博物館 三橋 弘宗

※(18:00~ 懇親会：ななファーム 魚魚)

(敬省略)

■申し込み方法

下記問い合わせ先に、所属、お名前、連絡先を添えてお申込みください。

申し込み期限は9月30日(金)です。一般にも公開します。当日参加も可能ですが、資料準備の関係もありますので、できるだけ事前にお申し込みください。

ミュージアム連携ワークショップ in 大阪 事務局

応用生態工学会大阪 代表 渡辺敏

(株式会社ウエスコ関西支社環境計画事業部内)

e-mail: s-watanabe @ wesco. co. jp

TEL: 06-6943-1520



主催： 応用生態工学会 大阪

共催： 大阪市立自然史博物館、神戸市立須磨海浜水族園、兵庫県立人と自然の博物館

後援： 建設コンサルタンツ協会近畿支部